

2018年度 土岐 英史 客員教授 ジャズ 特別講義（2）

1. 日 時 : 2018年 11 月 14 日(水) 15 時 15 分～18 時 30 分

2. 場 所 : K 号館 404 教室

3. 対象学生【必修】 : ジャズ専攻・コース生

学内他聴講可

4. 講 師 紹 介 : 土岐 英史 客員教授

1950年神戸に生まれる。中学時代にクラリネットとサクスを始め、高校入学後、弱冠16歳でプロデビュー。大学進学後に上京。新宿のジャズ・クラブで活動しながら渡辺貞夫、増尾好秋、本田竹広、峰厚介らとセッションを重ねてきた。1970年からは、鈴木勲グループ、宮間利之とニューハード、日野皓正クインテット、川崎燎クインテット、板橋文夫カルテットなど、日本ジャズ・シーンの伝説的ユニットに参加。1974年には渡辺香津美らとともに土岐英史カルテットを結成し、「TOKI」「LOVERMAN」などの名作を発表。その後もライブ活動に加え、松岡直也、山下達郎、坂本龍一らとのセッション、スタジオ・ワークなど多方面で活躍。また海外でもレコーディングやフェスティバルへの参加など精力的な活動を展開し、1985年からは山岸潤史、続木徹らと共にチキンシャックを結成。同ユニットでこれまでに10枚以上の作品を発表し、ブルーノート東京にも出演を果たしている。その卓越した演奏技術とソウルフルなサウンドで満席のフロアを沸かせたことも記憶に新しい。まさに日本ジャズ史にその名を刻むサクソ奏者といえる。2018年4月より大阪音楽大学客員教授に就任。

5. 講 義 概 要 :

現代ジャズの主流であるコンボ・スタイルの演奏を行ううえで必須とされる技術を

ジャム・セッション形式のアンサンブルを通じて解説、指導していただく。